

## 令和元年度がん対策の主な取組予定

## 全般事項

- 岩手県がん対策推進条例の推進
  - ・ 「岩手県がん対策推進条例」の規定に基づく取組を実施
- 「第3次岩手県がん対策推進計画」の推進
  - ・ 「第3次岩手県がん対策推進計画」（2018～2023）に基づく取組を実施
- 「岩手県保健医療計画（がんの医療体制）」の推進
  - ・ 「岩手県保健医療計画（がんの医療体制）」（2018～2023）に基づく取組を実施
- 「健康いわて21プラン（第2次）」の推進
  - ・ 「健康いわて21プラン（第2次）」（2014～2022）に基づく取組を実施

## 1 がんの予防

- がんの予防に向け、県民に対する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、たばこ対策においては、健康増進法の改正に伴う新たな受動喫煙対策のほか市町村や関係機関との連携による、喫煙環境の変化の機会をとらえた各種禁煙促進の取組を実施
- がんの早期発見に向け、がん検診の受診率向上を図るため、県民に対する普及啓発（受診勧奨）や受診環境の整備など、市町村や関係機関との連携により各種取組を引き続き実施
- 「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト協定」締結企業等と協働し、がん検診受診率の向上に向けた取組を実施

## 1 がんの1次予防

- ・ 岩手県がん対策推進条例等に基づき、様々な取組を活用して、広く県民にがんの予防や早期発見について情報発信
- ・ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の取組として、従来からの取組である各種媒体を活用した禁煙の呼びかけや、全県における啓発ポスターの掲示等を実施するとともに、禁煙・分煙の飲食店・喫茶店登録への感謝状の贈呈などの取組も実施
- ・ 検診機関等と連携し、禁煙希望者に対する面談、禁煙補助剤の配付など、禁煙支援を推進する。
- ・ 望まない受動喫煙を防止するため、改正健康増進法の全面施行（2020年4月）に向けた受動喫煙防止措置の周知徹底、指導等（施設の管理者等に対する説明会 等）
- ・ 市町村・学校・企業等における禁煙・防煙リーダー研修会の開催、禁煙支援マスター（保健所長）等による禁煙・防煙教室の開催及び地域における喫煙ストップキャンペーンの実施
- ・ 協会けんぽ岩手支部と連携し、たばこ対策などの分野において、次のとおり全県的な普及啓発活動を実施

普及啓発の内容	配布・掲示先（か所数）
「協会けんぽ岩手支部チラシ」を活用した情報発信	支部の全加入企業（17,000 企業）
禁煙を呼びかける「脳卒中予防ポスター」等の共同掲示 （喫煙の習慣は、脳卒中の主要因であること）	県内の健康保険委員登録事業所（1,800 企業） 県内の医療機関・調剤薬局（2,300 機関） 県内全市町村、県庁・県保健所

## 2 がんの2次予防（がんの早期発見、がん検診）

- ・ 「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト協定」締結企業等と協働し、がん検診受診率の向上に向け、受診勧奨リーフレット等を作成し全県に配布予定
- ・ いわてピンクリボンの会と連携し、10月のピンクリボン運動月間に、乳がん検診受診勧奨ポスターの掲示や、各合同庁舎等におけるピンクリボンツリーの設置など、全県で普及啓発を実施予定
- ・ 受診率の向上に向けた受診勧奨等フォローアップ事業の実施
- ・ 保険者協議会等を通じた被用者保険と連携した受診率向上の取組の検討
- ・ 岩手県生活習慣病健診等管理指導協議会の各部会（胃がん・子宮がん・肺がん・乳がん・大腸がん）において、市町村が実施するがん検診の実施方法や、受診率、精密検査受診率等の状況について分析・評価、改善に向けた指導を実施予定

### 【各団体等の取組】

#### ○岩手県対がん協会

- ① 県内市町村・事業所を対象としたがん検診の実施
  - ・ 市町村・事業所と情報交換を密にし、がん検診の充実と改善を図る
  - ・ 市町村と連携し、地域で保健活動に取り組む団体等に広く呼びかける
  - ・ はがきによる胃がん検診の個別受診勧奨を行う
  - ・ ピロリ菌検査について、実施主体、地元医師会と連携し、事後管理を含めた新たな検診体制の構築を検討する
- ②がんに関する普及啓発活動
  - ・ がん征圧月間（9月）時に新聞等によるPR
  - ・ テレビ、ラジオ、インターネットによる情報発信
  - ・ 他団体イベントへの協賛
  - ・ 市町村等の健康イベントへ参加しての普及啓発
  - ・ 講師を派遣しての講演会、小中高校生を対象に健康教育を行う出前授業
- ③保健活動
  - ・ 特定保健指導、各種がん検診の予後調査、乳がん自己触診法教室、がん予防電話相談など
- ④調査研究
  - ・ 事業年報の作成・配布、行政や各種団体へ集計データ等の提供、症例検討会等の実施
- ⑤医療技術職の育成・援助
  - ・ 修学資金貸与による医療技術職の育成、援助

○岩手県医師会

- ・ 「健康増進法の一部を改正する法律」施行に伴い、病院・診療所は、原則敷地内禁煙となることから、県が作成した「受動喫煙の健康影響等リーフレット」を病院・診療所に送付し、受動喫煙防止を推進

○岩手県看護協会

- ・ 健康いわて 21 プランの推進
- ・ 世界禁煙デーの取組ポスター掲示、禁煙の推進
- ・ 受動喫煙防止対策の啓蒙活動
- ・ いわてピンクリボンの会と連携した取組推進

○岩手県薬剤師会

- ・ 盛岡市保健所との共催による禁煙チャレンジ開催
- ・ 小・中・高校生への禁煙教室（薬物乱用防止の一環）開催
- ・ 禁煙啓蒙ポスターの店頭掲示

○全国健康保険協会岩手支部

- ・ 健康づくりを目的としたセミナーで、「禁煙」に関する講話を予定
- ・ 各種研修会で、がん検診について研修を実施予定
- ・ 受動喫煙防止対策の記事を掲載（H31.4 実施済）

○岩手銀行

- ・ 4月1日から施設内及び敷地内の完全禁煙を実施
- ・ 定期健康診断、胃がん検診、大腸がん検診の実施、任意人間ドックの受診推奨
- ・ 二次検診の完全受診、疾病の未然防止や早期発見の呼びかけ
- ・ 岩手健康保持増進等推進協議会や、岩手県がん検診受診率向上プロジェクト等の取組への参画、厚生労働省や岩手労働局における取組との融合、意見具申や提言

## 2 がん医療の充実

- 国の整備指針の見直しの内容を踏まえたがん診療連携拠点病院の体制確保  
(新たな国の整備指針に適合したがん診療連携拠点病院の更新申請手続)
- 拠点病院の機能強化を引き続き支援するとともに、がん患者・経験者の就労支援やがん教育などに取り組む病院へ支援
- 国の「がんゲノム医療拠点病院」整備指針、「小児がん拠点病院」の整備指針の見直しの内容を踏まえた連携の促進
- がん医療に係る専門的知識を有する医療従事者育成の取組を継続実施
- 小児・AYA世代、高齢のがん患者に関する施策の情報収集等を実施、地域における在宅医療などの取組を促進
- がん登録等の推進に関する法律に基づく登録制度の周知及び円滑な登録を支援
- これまでの地域がん登録事業により得られたデータの積極的な利活用の実施

### 1 医療機関の整備と医療連携体制の構築

- ・ 県内 10 か所のがん診療連携拠点病院の専門的な医療提供や相談支援の機能強化を図るため、医療従事者等の資質向上や相談支援センター相談員の配置等を促進するとともに、がん患者・経験者の就労支援やがん教育などの取組を行う病院への支援を引き続き実施
- ・ がん拠点病院等の整備に関する指針改正（平成 30 年 7 月）により、指定期間が 1 年に短縮されたがん診療連携拠点病院の指定更新を支援  
(令和 2 年 4 月更新対象：県立中央病院、県立中部病院、県立磐井病院、県立大船渡病院、県立釜石病院、県立宮古病院、県立久慈病院、県立二戸病院)
- ・ がんゲノム医療拠点病院整備指針の内容を踏まえた取組の促進

### 2 がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成及び確保

認定看護師の育成事業など、がん医療に係る専門的知識を有する医療従事者の育成を実施

### 3 小児・AYA世代のがん、高齢者のがん

- ・ 小児がんの医療や患者支援に係る実態把握や情報収集を引き続き進めるとともに、国の小児がん拠点病院の整備指針の見直しに基づき、小児がん拠点病院と県内の拠点病院との役割分担、広域連携などの取組を促進
- ・ 国が策定する高齢者のがん診療ガイドラインの周知
- ・ 国立がん研究センター（がん情報サービス）や小児がん拠点病院等が提供する関連情報の発信
- ・ 地域の拠点病院と地域の医療機関等との連携、在宅医療等の取組を促進

### 4 がん登録

- ・ がん登録等の推進に関する法律の施行に伴い、病院及び診療所等に対して登録制度の周知を図るとともに、県医師会等関係機関と連携し、円滑な登録を支援
- ・ これまでの地域がん登録事業により得られた貴重なデータについて、県民に対する普及啓発等において積極的な利活用を実施  
(「検診群」と「外来群」の 5 年生存率の比較データなどを用いた、県民に対する受診勧奨など)

- ・ 院内がん登録及び全国がん登録への積極的な取組、登録数増加、精度向上

#### 【各団体等の取組】

##### ○ 岩手医科大学

- ・ ELNEC(The End-of-life Nursing Education Consortium)  
終末期看護の教育コンソーシアムの開催

##### ○ 岩手県歯科医師会

- ・ がん診療医科歯科連携協議会
- ・ がん診療医科歯科連携協議会運営委員会
- ・ 全国共通がん医科歯科連携講習会
- ・ 病院から歯科医院への診療紹介状況等の調査実施
- ・ 医科歯科連携モデル事業の実施
- ・ 情報誌「いとしの架け橋」発行

##### ○ 岩手県看護協会

- ・ 県が委託する中堅看護職員実務研修「がん看護」実施による、がん医療に携わる看護師の育成（国のがん対策の動向、県がん条例に係る資料の提示等）
- ・ 岩手医大附属病院高度看護研修センターの緩和ケア認定看護師育成支援
- ・ がん医療に係る看護職の育成と認定看護師の資格取得支援
- ・ 研修会「高齢がん患者の治療に伴う倫理的課題と意思決定を支えるケア」を県内3か所で実施（在宅のがん治療患者のケアを含む）
- ・ 関係団体が実施するがん対策事業の後援

### 3 がんと共生

- 拠点病院等が実施する緩和ケア研修について、引き続き研修会の開催支援、同研修会に係る指導者・ファシリテーター向け研修を実施
- 拠点病院の相談支援センター相談員の配置・育成やがんサロン運営に対し支援
- 拠点病院等間の情報ネットワークを活用した診断・診療支援、TV会議システムを活用したカンファレンスなどの取組を支援
- 県民や地域の保健医療従事者を対象とする在宅緩和ケア講習会を引き続き実施
- 患者・家族向けサポートブックの作成・配布やホームページの充実などによる、患者・家族の療養生活の質の向上に資する情報発信
- 県施策・事業や研修等への患者や家族の意見反映のため、がん患者・家族会との会議を開催
- がん患者の就労など各種支援について、セミナーを実施するほか、県がん診療連携協議会と連携し拠点病院における取組を推進
- 医療機関、就労支援機関や教育関係者などの連携による相談支援の実施

#### 1 がんと診断された時からの緩和ケアの推進

- ・ がん患者やその家族の不安や疑問に適切に対応するため、拠点病院が行う相談支援センター相談員の配置や育成、がんサロンの運営、普及啓発・情報提供事業の実施などに対する支援を実施

- ・ 専門的な緩和ケアを担う医療従事者を確保するため、拠点病院等が実施する研修会の開催への支援を行うとともに、同研修会の企画運営に当たる指導者やファシリテーターの養成に向け、全国研修への医師派遣や研修会の開催を引き続き実施
- ・ 緩和ケアテレカンファレンスの開催（11回）
- ・ 全てのがん診療に従事する医師・歯科医師が緩和ケアの基本的知識・技術を習得するための研修を引き続き実施
- ・ 緩和ケアに係る理解の促進と地域の医療連携体制の構築に資するため、一般県民や地域の保健医療福祉従事者等を対象とした在宅緩和ケアの講習会を、岩手県医師会への委託により県内3か所で実施予定

## 2 相談支援及び情報提供

- ・ がんに関する情報の適切な提供を通じて、がん患者やその家族等の療養生活の質の向上が図られるよう、療養上必要な情報をまとめた患者・家族向け「いわてのがん療養サポートブック」を継続配布

## 3 地域におけるがん患者支援、患者会等活動の充実

- ・ がん患者の悩みや不安の軽減に資するよう、がん患者・家族会の活動を支援。学習会・情報交換会の開催や県ホームページでの活動紹介に加え、県の施策・事業へよりの確に意見を反映するよう患者・家族会の代表者による連絡会を開催
- ・ 医師に対する緩和ケア研修会に患者の視点を取り入れるための、医療者と患者会による合同検討会議を開催

## 4 がん患者等の就労を含めた社会的な問題

- ・ がんや脳卒中などの病気になっても、就労継続など様々な支援が受けられるよう、県内企業の労務・安全衛生担当者、医療従事者、がん患者や家族等を対象としたセミナーを開催
- ・ 岩手県がん診療連携協議会や就労と連携しながら、就労支援機関との連携による各拠点病院におけるがん患者の就労に係る相談・支援の取組を実施
- ・ 岩手労働局が運営する「地域両立支援推進チーム」、「長期療養者等支援担当者連絡会議」において就労支援に関する関係団体の参画の促進

### 【各団体等の取組】

#### ○岩手県薬剤師会

- ・ がん薬物療法、緩和医療に関する研修会の実施

#### ○岩手医科大学

- ・ がん患者・家族サロンでよろず相談やイベントの開催やがん患者・家族が気軽に医療者と話ができる場として「対話カフェ」を開催
- ・ 「がん患者・家族サロンだより」による情報提供
- ・ がん患者等を支援するボランティア育成のための研修会開催
- ・ 情報提供・相談支援研修会開催

## ○県立中央病院

- ・ 「なでしこサロン」の回数増加（週２回から３回へ）

## ○岩手ホスピスの会

### ① 緩和ケアセミナーの開催（会主催）

日時：令和元年８月頃

場所：盛岡市総合福祉センター

内容：「岩手県立大船渡病院における苦痛のスクリーニングの取り組みについて」と題して、  
県立大船渡病院 村上雅彦先生が同院の苦痛のスクリーニングの取組について講演予定

### ② ホスピスボランティア活動（会主催）

日時：令和元年１０月頃

場所：盛岡友愛病院西棟５Ｆティーラウンジ（緩和ケア病棟）

内容：コーヒーサービスとうたごえコーラスを開催し、同院緩和ケア病棟の患者さんと付添家族と交流予定

### ③ 全国がん診療連携拠点病院のがん患者さんへタオル帽子をプレゼント（６月・１１月）

### ④ がん患者さんやご家族の悩みに対応する「医療相談お茶っこ会」開催

### ⑤ 各病院、企業、学校でのタオル帽子作成講習会開催（９・１０月）

### ⑥ がん患者さんのための栄養講座開催（会主催）

日時：令和元年９月頃

場所：盛岡市総合福祉センター

内容：「がん在宅療養中の食事の工夫」と題して、県立胆沢病院栄養サポートチーム専従管理栄養士・がん病態栄養専門管理栄養士の蛇口真理子氏を講師に開催予定

### ⑦ がん相談ホットライン活動（当会担当者による、がんなんでも電話相談）

### ⑧ 岩手県内各ホスピスの定期的な現状調査と発信

## ○盛岡かたくりの会

- ・ リンパ浮腫サロンの開催（盛岡・一関・釜石・遠野で開催予定）

## ○ペイシェント アクティブ びわの会

- ・ 「びわカフェ」の開催（月１回）
- ・ ピアサポーター活動（週１回 中部病院がん情報サロン「虹」）
- ・ 「患者の学校」の開催（１１月）
- ・ 「いのち紡ぐコンサート」開催（８月）
- ・ 里山散策会（５／１１開催済・秋に２回目）
- ・ 「がん患者の痛みと緩和」（講演会）開催（４／２１開催済）

## ○岩手労働局

- ・ 両立支援ガイドラインの周知啓発、助成金制度の周知、企業の意識改革及び支援体制の整備
- ・ 岩手県産業保健総合支援センター等の各種サービスの周知、利用促進
- ・ 岩手県地域両立支援推進チームによる関係者の連携、両立支援の取組促進
- ・ 「障害・治療と仕事の両立支援助成コース」の周知、利用勧奨

#### ○盛岡公共職業安定所（ハローワーク盛岡）

- ・ 療養者向け出張相談リーフレット、事業所向け求人時の「治療と仕事の両立」への依頼リーフレットを活用しながら、就労支援を実施
- ・ 引き続き岩手医科大学附属病院との連携強化を図るとともに、新たに県立中央病院と協定を締結し連携を図る

## 4 がん対策の取組を支える基盤づくり

- がんの予防に向け、県民に対する正しい知識、がん検診の受診勧奨などの普及啓発を引き続き実施
- 患者・家族向けサポートブックの増刷・配布やホームページの充実などにより、患者・家族の療養生活の質の向上に資する情報の発信を強化
- 学校におけるがん教育を引き続き展開

### 1 がん教育、がんに関する知識の普及啓発

- ・ がんに関する情報の適切な提供を通じて、がん患者やその家族等の療養生活の質の向上が図られるよう、療養上必要な情報をまとめた患者・家族向けのサポートブックを引き続き配布するほか、県ホームページの内容を充実
- ・ 国立がんセンターが提供（がん情報サービス）するがん関連情報の発信
- ・ がん・生活習慣病を含む健康教育を一層推進するため、岩手県対がん協会が実施する学校への出前講座の支援
- ・ 高校生対象のがん教育講演会における講師派遣事業の実施
- ・ 小学生向けのがんに関する啓発リーフレットを作成し、小学生6学年の児童全員に配布
- ・ 教員・外部講師対象の研修会の開催（11月5日実施 学校保健研修会）
- ・ 啓発教材等の作成普及（がん教育マニュアル作成）
- ・ 外部講師リストの作成・周知

### 2 県民の参画や取組の促進

- ・ 「県民みんなで支える地域医療推進会議」の運営等
- ・ 保健医療従事者、患者団体、報道機関等と連携した県民向けの普及啓発イベントの継続実施
- ・ 自らの健康づくり等に関する県民への啓発
- ・ 関係団体等が行う普及啓発活動への後援



## 【参考】

### 平成 31 年度県立学校における「がんの教育講演会」講師派遣事業要項

#### 1 目 的

県立高等学校（特別支援学校においては高等部）へがん専門医を派遣することにより、生徒にがんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい知識の認識及び命の大切さに対する理解を深化させる。また、自らの健康を適切に管理するとともに、がん予防や早期発見につながる行動変容を促す。

#### 2 対 象

講師派遣を希望する県内の高等学校（特別支援学校においては高等部）

#### 3 派遣講師

医師または大学教授（がん診療連携拠点病院）

#### 4 経 費

講師にかかる報償費・旅費は県教育委員会で負担

#### 5 派遣決定までの流れ

- (1) 県教委から高等学校長あてに派遣希望募集の文書を発出する。
- (2) 派遣を希望する高等学校は県教委へ申込を行う。
- (3) 県教委は申込があった学校が所在するがん診療連携拠点病院へ連絡をし、対応の可否を確認する。
- (4) 対応可能と確認された学校には県教委から決定通知を発出する。
- (5) 各校でがん診療連携拠点病院の連絡窓口担当者（岩手医科大学においては講師本人）と連絡を取り、講演会の実施日時を決定する。
- (6) 各校で、講師を派遣する病院長及び講師本人あてに依頼文書を発出する。また、実施予定日を別紙にて県教育委員会へ報告する。
- (7) 高等学校の担当者は講師と連絡をとり、講演または授業の内容等について打合せを行う。

#### 6 講演の内容

文部科学省作成「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」における以下内容について、学校及び地域の実情に応じ、外部講師と打合せを行いながら決定する。

なお、小中高の学習において、「がん」に特化した内容は取り扱っていないことから、文部科学省作成「がん教育推進の教材」を参考に、基本的内容を中心に、がんという疾病を正しく理解させ、適切な態度や行動をとることができるようにする。

### (1) がん教育に必要な内容

- ① がんとは（がんの要因等）
- ② がんの種類とその経過
- ③ 日本におけるがんの状況
- ④ がんの予防
- ⑤ がんの早期発見・がん検診
- ⑥ がんの治療法
- ⑦ がん患者の「生活の質」
- ⑧ がん患者への理解と共生

### (2) がん教育を進める上での留意点

- ・ 学校が主体となって企画・運営を行うこと。
- ・ 全ての教職員の共通理解のもとに進めること。
- ・ 必要に応じて保護者への広報、啓発活動を同時に行うなど、保護者への理解も求めながら進めること。
- ・ 事前に講師と打合せを行い、学習指導上の留意点について共有すること。

### (3) がん教育を進める上での配慮事項

がん教育の実施に当たっては、授業の実施前までに以下のような事例に該当する生徒の存在について確認を行うこと。また、実施に当たっては保護者や生徒に講演・授業について周知し、事情により受講を希望しない生徒に対しては別室で対応する等配慮を行うこと。

- ・ 小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある生徒
- ・ 家族にがん患者がいる生徒や家族をがんで亡くした生徒
- ・ がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある生徒や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした生徒

## 7 講演後の報告等

がん教育講演会実施校は別紙「実施報告書」を県教育委員会へ提出する。

令和元年度がんの教育講演会実施校

	学校名	対象学年	人数
1	盛岡第一高等学校	2 学年	280 人
2	盛岡北高等学校	3 年生	237 人
3	盛岡商業高等学校	3 年生	244 人
4	盛岡峰南高等支援学校	3 年生	39 人
5	花北青雲高等学校	1 年生	160 人
6	大迫高等学校	全学年	75 人
7	前沢高等学校	全学年	150 人
8	一関第二高等学校	2 年生	200 人
9	一関工業高等学校	2 年生	150 人
10	花泉高等学校	全学年	115 人
11	大東高等学校	3 年生	101 人
12	大船渡高校定時制	全学年	18 人
13	大槌高等学校	3 年生	65 人
14	宮古工業高等学校	3 年生	61 人
15	福岡高等学校	1・2 年生	382 人